

研究目的

平叙文により話者自身に関する情報・意見などを聞き手に知らせようとする場合、独話的発話で話題を提示する動機付け及びその使用実態を解明する。

1. 先行研究と問題点

1.1 独話的発話による話題導入に関する先行研究

筒井（2012）：親しい友人の間柄：必要

岡崎（2020）：初対面同士の会話：独話的発話による話題導入 あり

1.2 問題点

参加者間の関係は？独話的発話使用の動機付け？機能？



2. 研究方法

2.1 会話資料 20代前半の女子大生の初対面から4回目までの自由会話

2.2 独話的発話の定義と認定

- 独話的発話の定義：「聞き手不在であるかのように、自分自身に宛てており、思考や心情が率直に表出される発話」岡崎（2018:22）。
- 独話的発話の認定：言語的特徴とパラ言語的特徴を参考。

3. 分析の結果

3.1 機能と動機付け

機能： i 記憶内の情報の検索 ii 感情や評価の表出

動機付け：

- 直前の話題に関連させつつ新たな話題のネタを提供。
- 思考や感情を相手に提示し、相手との距離の接近を図る。
- 話題の選択権を相手に任せ、相手の意志を尊重。

断片1：初対面会話

- KI:私も(.)あのお教職でさ
- OA:うんうん
- KI:介護等体験(.)だっ[け]
- OA: [あ::うんうん]
- KI:っていうんだっけあのお(.)2日の方(.)2日間だけの方で
- OA:うん
- KI:みどりようごじゃなくて^oなんだって^oとうきり-きり^oなんだっけ^o=

機能 i + 動機付け①②

断片2：2回目以降の会話

- KR:生まれ変わったら、ハムスターとかに[なりたいな]
- SR: [hhhhhhhh]
- KR:餌だ！ぱくぱく
- SR:分かる
- KR:滑車楽しい[みたいなのhhhhhh寝るみたいなのう]

機能 ii + 動機付け①②③

断片3：2回目以降の会話

- KI:仮面浪人か、受験懐かしいな
- OA:本当だよね=
- KI:=うん、いや^o大変だったな(.、)受験の日^oなんかセンターがさ
- OA:うんうん
- KI:数学が激ムズだった=

機能 ii + 動機付け①②③



3.2 使用場面

表1 各機能と動機付けの使用場面

	機能 i	機能 ii	動機付け①	動機付け②	動機付け③
初対面	あり	なし	あり	あり	なし
2回目以降	なし	あり	あり	あり	あり

参考文献：

- 岡崎渉（2018）「非デスマス形の機能による分類方法の検討—情意的態度と聞き手目当て性の観点から—」『兵庫教育大学研究紀要』52,19-31.
- 岡崎渉（2020）「デスマス形会話における独話的発話の談話機能」『言語表現研究』36,47-60.
- 筒井佐代（2012）『雑談の構造分析』,東京:くろしお出版.
- 平本毅（2011）「話題アイテムの掴み出し」『現代社会学理論研究』5,101-119.
- 三牧陽子（2000）「丁寧体基調の談話にみる独話的発話・直接引用・心情の直接表出—「働きかけ方式」のポライトネス・ストラテジーとして—」『多文化社会と留学生交流』4,37-53.